EA993BN-10

MASADA JACK

取扱説明書

多段式油圧ジャッキ

⚠ 警告

製品を使用する前にこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから正しくご使用ください。
この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管して下さい。

株式会社 マサダ製作所

本社・工場〒197-0815 東京都あきる野市二宮窪2-1-1 TEL.042-559-1113FAX.042-559-7334
大阪支店 〒550-0029 大阪府堺市堺区新町3-7STC ビル2F TEL.072-227-5820FAX.072-227-5821

◆製品保証事項

品　名	多段式油圧ジャッキ

このたびはマサダ多段式油圧ジャッキをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品に対しては下記の範囲において保証サービスを致します。

1. 保証期間は、お買上げ後１年以内と致します。
2. 保証期間内において正常のご使用にもかかわらず生じた製造上の責に帰する故障は無償で修理致します。
3. 保証期間中であっても下記条件に該当する場合は修理に要した費用の実費を申し受けます。
   - イ. 弊社、お買上店およびサービスステーション以外において修理加工を行った場合。
   - ロ. 製品に改造等を加えこれが原因となった場合。
   - ハ. 不慮の事故、濫用、誤用が原因となった場合。
4. 本製品の保証は日本国内で使用される場合に限ります。
   This warranty is valid only in Japan.

このジャッキは社内検査規格に合格しています。

⚠ 使用上の注意

1. 使用前にはその都度ジャッキを点検して下さい。損傷したジャッキや改造ジャッキ、調子の悪いジャッキは使わないで下さい。
2. このジャッキの呼び荷重を超えた荷重では使用しないで下さい。
3. ジャッキは平坦で堅い場所に置いてご使用下さい。
4. ハンドルの上下操作によりラムが伸び始めたら、重量物の荷重がジャッキ受金部の中心に垂直にかかるようにして下さい。
   (傾斜荷重がかかる際は6° 以内でのご利用に留めて下さい)
5. 重量物は必要以上に高く上げないで下さい。
6. ジャッキを上げたまま重量物を保持する場合は安全上、安定性の良い適切な保持台で支えて下さい。
7. ジャッキだけで支えている重量物の下には絶対に入らないで下さい。
8. 保持している重量物には力を加えないで下さい。
9. ハンドルを使用しない時はジャッキ本体から抜いて下さい。また仕様で決められたハンドル以外は絶対に使用しないで下さい。
10. ジャッキのラムを下げる場合は１～２度上昇方向にポンプ操作を行った後、リリーズステム(圧抜弁)を反時計回りにゆっくり回して下げて下さい。
11. ジャッキ使用後、ジャッキのラムは最縮長状態にして下さい。伸ばした状態ではラムにキズをつけることがあります。
12. ジャッキは外気温－２０℃～７０℃の範囲でご使用下さい。
13. 本ジャッキは垂直上昇方向のみでご使用下さい。

⚠ 自動車用として使用する場合の注意

1. 車両に付属されている取扱説明書をよく読んでジャッキをご使用下さい。
2. 車の車種および重量に適したジャッキをご使用下さい。
3. 交換するタイヤの反対側の前後車輪に車止めを使って下さい。
4. ジャッキアップの際、車の決められた位置にジャッキの受金部の中心が垂直に当たるようにして下さい。
5. ジャッキアップは必要以上に高くしないで下さい。
6. ジャッキ使用中は絶対に車の下に入らないで下さい。車の下に入る場合は必ずリジットラック等の保持台で車を保持して下さい。
7. ジャッキ使用中は車には力を加えないで下さい。

⚠ 注意

※HPD-4I の場合
ラムの上昇停止マーク（黄色塗装）が見えたら、ハンドル操作を止めて下さい。そのまま操作を続けますとジャッキが破損し、重大な事故につながります。

ご愛用の皆様へ

このたびはマサダ多段式油圧ジャッキをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んでご使用頂きませんと、製品の能力を十分に発揮することができませんのでよく理解した上で、正しくご使用下さい。

お買上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買上げ頂きました販売会社迄お問い合わせ下さい。

⚠ 警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用下さい。

危険・・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

警告・・取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

注意・・取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみ発生が想定される場合。

⚠ 危険・警告事項

危険・警告事項を怠りますと、重量物の落下や人身事故につながる恐れがありますので、必ずよく理解した上で正しくご使用下さい。

⚠ 危険

ジャッキアップ状態で重量物（車等）の下での作業は厳禁

※死亡または重傷の危険性があります。

⚠ 警告

取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること

※重要な警告事項が説明されています。
警告事項に従って下さい。重大な事故につながります。

傾斜地や軟弱な場所での使用禁止

※傾斜地や軟弱な場所で使用すると、ジャッキが傾き、受金部がすべり、重要物の落下による重大な事故が発生します。

◆取扱い方法

●ジャッキを上げる時

※HFD-10SK-2 のみエアーベントを反時計回りに回して下さい。

1. リリーズステムにハンドル先端（U 切欠き部）を差込み、時計回りに回して確実にバルブを閉じて下さい。（バルブを締め過ぎると故障の原因となりますので締め過ぎないように注意して下さい）
   ※HFD-10F-3・HFD-10SK-2(3)は必ずアダプターを使用して下さい。
2. ハンドル接手にハンドルを差込み、ポンプを上下方向に作動させて下さい。
3. HPD-4I の場合、ラム上昇停止マークが見えたら、ポンプ作動を止めて下さい。

●ジャッキを下げる時

⚠ 注意

リリーズステムはゆっくり回して下さい。早く回すと重量物は急激に降下しジャッキポイントが外れたり、またジャッキが破損する場合があり、重大な事故につながります。

1. リリーズステムにハンドル先端（U 切欠き部）を差込み、反時計回りにゆっくり回してバルブを開けて下さい。（２回転以上は回さないで下さい）
2. 荷重が加わっていない時は、ラムは自重で降下しませんので、足で押すか、あるいは適当な荷重を加えて下げて下さい。
3. 作業が終了したらジャッキに付着したゴミ、オイル等をきれいにふき取って下さい。ジャッキはラムを最低まで降ろして所定の場所へ保管して下さい。

⚠ 注意

ラベルが汚れて見えなくなったり、ジャッキ本体に異常が発見された場合、直ちに販売会社に相談して下さい。

●給油する時

1. ラムを最低まで押し下げて下さい。
2. 空気抜栓を指で外し指定のジャッキオイルまたは一般油圧作動油（ISO VG10~32）を、ジャッキを垂直に立てた状態で給油口まで入れて下さい。
3. 給油が終わったら空気抜栓を取りつけ、ポンプを作動させ、ラムを最高まで伸ばして下さい。
   そして、NPD-1.5-5・HPD-4I・HFT-3 の場合は、リリーズバルブを開き、ジャッキを反転させ、ベッド部を持ち、ラムを最縮長まで押し下げて下さい。その後、ジャッキを正規の位置に戻し、空気抜栓を横に押して空気を抜いて下さい。

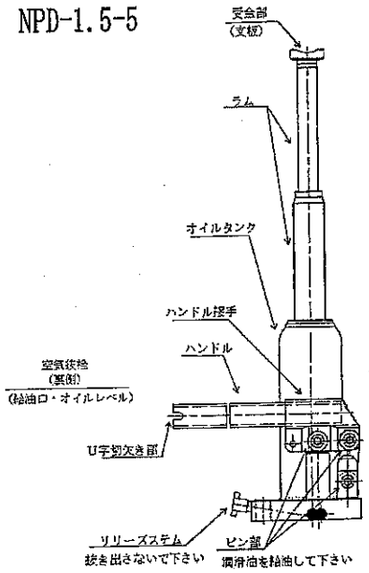
⚠ 注意

給油の際、ゴミ等が混入しない様注意して下さい。なお、ブレーキオイルまたは植物性のオイルは絶対に使用しないで下さい。作動不良の原因となります。

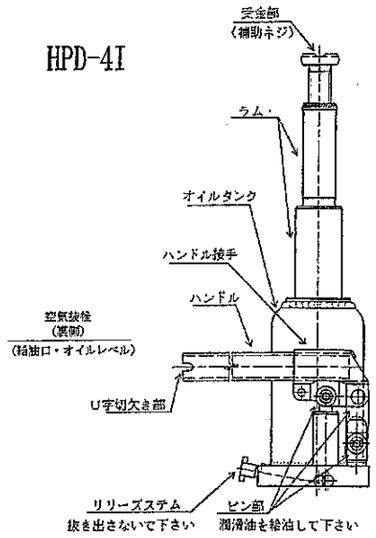
※HPD-4I の場合
本ジャッキは油量により揚程制限を行っています。油を入れ過ぎないようにして下さい。油を入れすぎますと、揚程制限が出来なくなり、ジャッキが破損し、重大な事故につながります。

交換後のジャッキオイル（廃油）は「産業廃棄物」に該当しますので、自治体の許可を得ている産業廃棄物収集業者または処理業者に委託し廃棄して下さい。

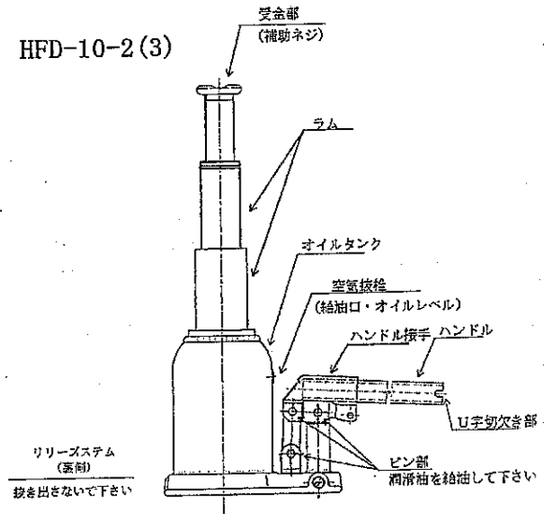
NPD-1.5-5



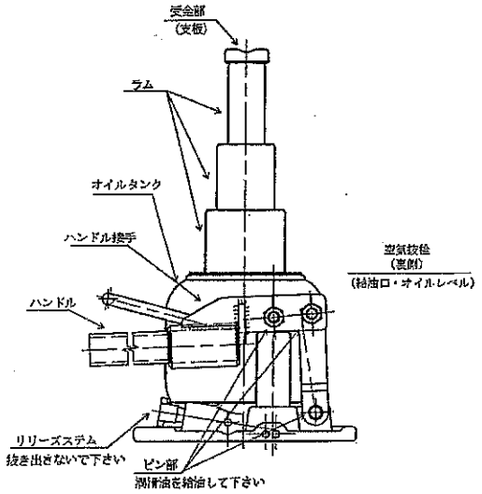
HPD-4I



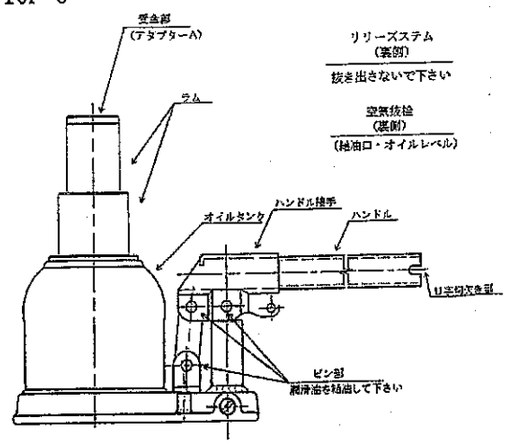
HFD-10-2(3)



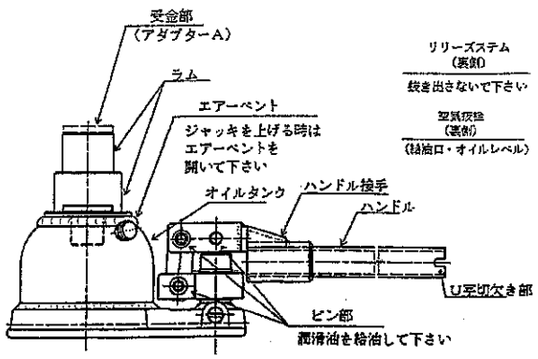
HFT-3



HFD-10F-3



HFD-10SK-2(3)



◆仕様表

型式 ＼ 仕様		呼び荷重 kN (TON)	最低高さ mm	揚程 mm	補助ネジ mm	最高高さ mm	受金寸法 mm	ベット寸法 mm	ハンドル寸法 mm	操作力 N	操作回数 回	アダプター	油量 cc	総質量 kg
NPD-1.5-5		15 (1.5)	170	205		375	φ27	90×90	φ19.1×380	250	64		115	2.7
HPD-4I		40 (4)	150	160	30	340	31×32	90×110	φ21.7×545	200	102		189	4.4
HFD-10-2(3)		100 (10)	170	180	70	420	45×47	118×180	φ21.7×605	178	279		390	8.3
HFD-10F-3	ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰA	100 (10)	120	100		220	φ38	118×180	φ21.7×605	178	93	A・B付き	245	6.6
	ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰB		160			260								6.9
HFD-10SK-2(3)	ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰA	100 (10)	100	60		160	φ38	118×180	φ21.7×605	178	63	A・B付き	180	6.0
	ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰB		140			200								6.3
HFT-3		30 (3)	120	150		270	φ34	154×167	φ21.7×600	274	108		330	8.2

◇◆故障と処置◆◇

主な故障	原因	処置	備考
ラムが上昇しない	リリーズステムが開いている	リリーズステムを時計回りに回し確実に閉じる	取扱方法参照
	バルブシール部にゴミまたはキズ付き	サービス工場に修理をご用命下さい	
最伸長まで上昇しない	作動油の不足または入れ過ぎ	適正油量を給油して下さい	取扱方法参照
ラムが下降する	バルブシール部にゴミまたはキズ付き	サービス工場に修理をご用命下さい	
ラムが自然に上昇する	空気の吸い込み	ラムを最低まで下げ空気抜栓を横に押し空気を抜いて下さい	取扱方法参照
ハンドルがはね上がる	吐出バルブシール不良	サービス工場に修理をご用命下さい	
外部に油が漏れる	オイルタンク上下部リリーズステムまたはポンプ部のシール不良	サービス工場に修理をご用命下さい	

指定サービスステーション一覧表

旭機器旭川工業所	〒070-8046 旭川市宮和6条7-5-11	☎0166-61-4615
旭機器苫小牧工業所	〒059-1364 苫小牧市沼の端255	☎0144-55-0444
旭機器帯広工業所	〒080-0047 帯広市西17条北1丁目24-1	☎0155-34-6078
アールエス機械（株）	〒007-0827 札幌市東区東雁来7条2丁目12-6	☎011-790-6291
（株）東奥ディーゼル	〒030-0151 青森市大字高田字日野167-8	☎017-739-1556
（有）東　　信	〒010-0963 秋田市八橋大沼町11-19	☎0188-62-3426
東　信　商　会	〒020-0638 岩手県滝沢市土沢310-95	☎0196-87-3117
（株）長瀬ボーリング	〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-5-10	☎022-239-7644
（有）アオヤギ機工	〒310-0841 水戸市酒門町4225-11	☎0292-48-2603
松栄メカニック	〒328-0025 栃木市仲仕上町79-2	☎0282-25-3553
関谷油圧機工	〒274-0054 千葉県船橋市金堀町579-8	☎047-457-4062
（有）ムカサ工機	〒369-0113 埼玉県鴻巣市下忍3347	☎048-548-1140
（合）今井工業所	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西5-17-16	☎03-3680-9767
太平メカニック（株）	〒143-0026 東京都大田区西馬込1-1-10	☎03-3778-3456
（有）中央パーツ工業社	〒220-0072 神奈川県横浜市西区浅間町1-10-1	☎045-311-4425
（株）大阪油圧	〒230-0071 神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-6-6	☎045-570-3830
（有）長田機械工業	〒939-1131 富山県高岡市醍醐1140-2	☎0766-63-3354
（有）中山商会	〒916-0019 福井県鯖江市丸山町1-1-3	☎0778-51-1193
（有）ヨシフジ	〒924-0002 石川県白山市八田中町198-3	☎0762-76-7444
（株）山岡工作所	〒500-8227 岐阜市北一色6-21-27	☎058-245-4662
誠　　商　会	〒453-0054 愛知県名古屋市中村区烏居西通1-20	☎052-412-3696
（株）西川工機	〒519-2142 三重県松坂市下蛸路町286-5	☎0598-29-2171
石上工作所	〒547-0026 大阪市平野区喜連西1-11-1	☎06-6706-4512
（株）大阪油圧	〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-7-9	☎06-6682-6511
濱川商会	〒651-2235 神戸市西区櫨谷町長谷338-1	☎078-991-2557
神戸エンジニアサービス	〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字大坪1128-22	☎078-743-4567
機工サービス倉敷	〒712-8051 岡山県倉敷市中畝7-3-7	☎086-455-4700
北陽商事（有）	〒689-3425 鳥取県米子市淀江町佐陀816-5	☎0859-56-2621
広亜工業所	〒733-0006 広島市西区三篠北町4-15	☎082-238-0240
井原商会	〒734-0026 広島市南区仁保3-1-9サンシティー仁保2F	☎082-282-8189
（株）アークス	〒790-0056 愛媛県松山市土居田町560	☎089-971-4417
（株）四国工作所	〒761-0101 高松市春日町1308-3	☎087-841-1439
（有）北伸マシンサービス	〒770-8054 徳島市山城西4-48	☎088-625-9101
（有）四国油器	〒780-0814 高知市稲荷町4-13	☎0888-83-0814
三信機器サービス（株）	〒870-0951 大分市大字下郡3055-12	☎097-569-6568
ＮＳＳ北九州	〒807-0806 北九州市八幡西区御開2-1-33	☎093-601-7114
（有）エアー機器サービス	〒815-0001 福岡市南区五十川2-10-18	☎092-501-6310
松本油圧	〒811-2113 福岡県粕屋郡須恵町須恵528-4	☎092-933-8093
宮崎整機	〒880-0927 宮崎県宮崎市源藤町池ノ内756-5	☎0985-52-3821
（株）マサダ製作所営業部	〒197-0815 東京都あきる野市二宮東2-1-1	☎042-559-1113